

# ICTを活用した歩行者移動支援サービスの 普及促進に向けた取組

---

令和元年6月

政策統括官付



- ユニバーサル社会の構築に向け、障害者や高齢者を含むあらゆる人々が円滑に移動できる環境を実現するため、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及に向けた取組を推進

## 実現するサービスのイメージ



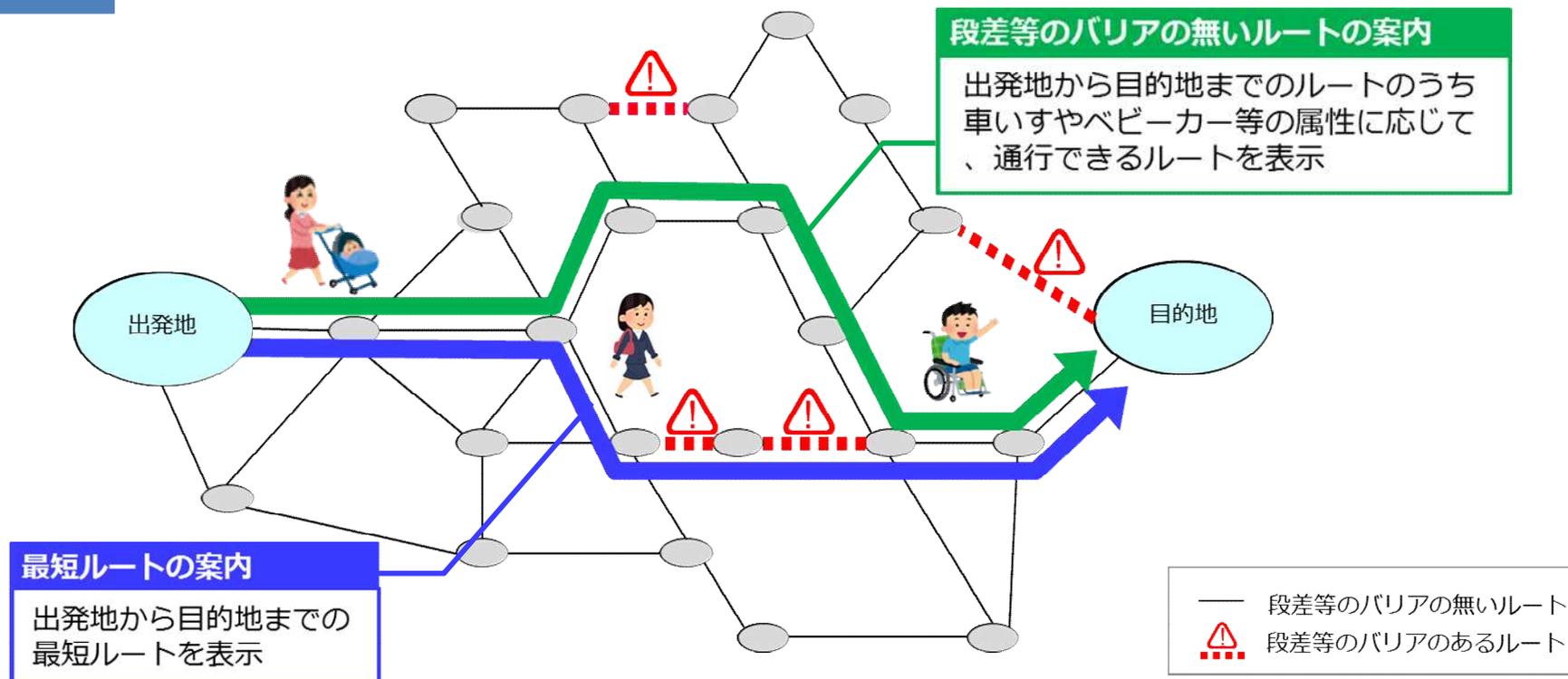
車いす使用者



ベビーカー



健常者



## 実現に向けた取組

- 歩行空間ネットワークデータ整備・利用に必要な基準等の作成
- 整備されたデータを活用できる環境の整備

## 普及に向けた課題

- バリアフリーに関するデータの充実・オープンデータ化の推進
- ナビゲーションに必要なデータの継続的な維持更新



○ ユニバーサル社会の構築に向け、障害者や高齢者を含むあらゆる人々が円滑に移動できる環境を実現するため、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及に向けた取組を推進

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 自治体等によるデータ整備促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 普及促進施策</li> <li>◆ データ整備の充実</li> <li>◆ データのオープン化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自治体のバリアフリー調査と連携した歩行空間ネットワークデータ等作成に向けた取組</li> </ul>	<div style="border: 2px dashed blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>資料2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自治体の観光マップ整備等既存施策との連携によるデータ等作成に向けた取組</li> </ul> </div>
② 多様な主体の参加によるデータ収集促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 多様な主体の参画に向けた環境整備</li> <li>◆ 新たなバリアフリーデータの収集・活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 多様な主体の参加促進のための取組</li> <li>◆ 住民投稿によってデータをチェック・更新する取組</li> </ul>	<div style="border: 2px dashed green; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>資料3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 他分野(教育機関等)の取組との連携</li> <li>◆ 複数のアプリ事業者によるデータ収集連携</li> </ul> </div>
③ 継続的なデータ更新に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ データ収集・流通に向けた課題検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ オープンデータの更新・評価のあり方検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ データの更新・評価手法の具体化</li> </ul>



# 平成30年度取組概要等



検討テーマ	検討項目	平成30年度 実施内容
<p>① 自治体等によるデータ整備促進の取組</p>	<p>自治体のバリアフリー調査と連携した歩行空間ネットワークデータ等作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>バリアフリー調査と連携した歩行空間ネットワークデータ等整備を行う実証を2地域で実施(神奈川県川崎市、大阪府大東市)</u></li> <li>◆ 実証においてデータ整備の可能性や方法・留意点を確認</li> <li>◆ 実証を通じて得られた知見・ノウハウを抽出し、「<u>効率的な歩行空間ネットワークデータ等の整備に関する手引き</u>」を作成</li> </ul>
<p>② 多様な主体の参加によるデータ収集促進の取組</p>	<p>多様な主体のバリアフリー情報収集への参加促進手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>多様な主体のデータ収集への参加促進に向けた仕組みに関して実証を実施</u></li> <li>◆ 知人や団体の紹介では投稿の継続率が高いことや、当事者や利用者間の投稿へのインセンティブの付与がモチベーションの向上に寄与することを確認</li> </ul>
<p>③ 継続的なデータ更新に向けた取組</p>	<p>住民投稿によるデータのチェック・更新の仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>データの信頼性を住民投稿によりチェック・更新する仕組みに関して実証を実施</u></li> <li>◆ 住民等によるバリアフリー情報のチェック・更新は、データの信頼性向上に有効であることを確認</li> </ul>
<p>③ 継続的なデータ更新に向けた取組</p>	<p>オープンデータの更新・評価のあり方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>歩行者移動支援に関するオープンデータ及びサービスの自律的な信頼性向上を目的として、歩行空間ネットワークデータの収集や評価のあり方について、検討・整理</u></li> </ul>



# ① 自治体等によるデータ整備促進の取組

- バリアフリー調査と連携した歩行空間ネットワークデータ等整備を行う実証を神奈川県川崎市、大阪府大東市の2地域で実施
- 実証を通じて知見・ノウハウを抽出し、「効率的な歩行空間ネットワークデータ等の整備に関する手引き」作成

## 《手引きの構成と内容》

### 何のための手引き？

- 1章 はじめに**
- 1. 手引きの目的と対象
  - 2. 手引きの位置づけ
  - 3. 手引きの構成

### バリアフリー調査と歩行空間ネットワークの関係は？

- 2章 歩行空間ネットワークデータ等の効率的な整備にむけて**
- 1. 歩行空間ネットワークデータ等を整備するメリット
  - 2. 歩行空間ネットワークデータ等の整備に向けた課題
  - 3. 歩行空間ネットワークデータ等の効率的な整備に向けて

### 経路のバリアフリーータを作るには？

- 3章 歩行空間ネットワークデータの効率的な整備方法**
- 1. バリアフリー調査との連携
  - 2. 調査路線と調査項目の検討
  - 3. 調査図面の準備
  - 4. 現地調査
  - 5. 調査結果のGISデータ化

### 施設のバリアフリーータを作るには？

- 4章 施設データの効率的な整備方法**
- 1. バリアフリー調査との連携
  - 2. 対象施設の選定
  - 3. 調査項目の選定
  - 4. 調査票の作成と配布
  - 5. 取りまとめとデータ変換

### 整備したデータを活用した事例は？

- 5章 歩行空間ネットワークデータ等の多用途活用**
- 1. 歩行空間ネットワークデータ等のオープンデータ化
  - 2. 多用途活用

仕様書やガイドラインを補完する位置づけとして、バリアフリー調査と連携して歩行空間ネットワークデータ等を整備するメリットや課題、整備・メンテナンスの工夫、具体的手法などを紹介

## ② 多様な主体の参加によるデータ収集促進の取組

- 多様な主体の参加促進のための仕組みや、住民投稿によりチェック・更新することでデータの信頼性を確保する仕組みを検証するため、実証を実施
- 利用者間のインセンティブの付与が投稿に対するモチベーションの向上に寄与すること、住民等によるバリアフリー情報のチェック・更新がデータの信頼性向上に有効であること等を確認

### 多様な主体の参加促進のための実証

### 住民投稿によるデータのチェック・更新実証

#### 検討内容

- 多様な団体・既存ユーザーからの紹介による参加者募集の効果を確認
- インセンティブ付与による投稿促進効果、利用者意識の変化を確認

- データの信頼性向上に向けて、住民等によるデータのチェック・更新の有効性を確認

#### 実施状況

使用アプリ(WheelLog!)



使用アプリ(Mapiece)



実施状況

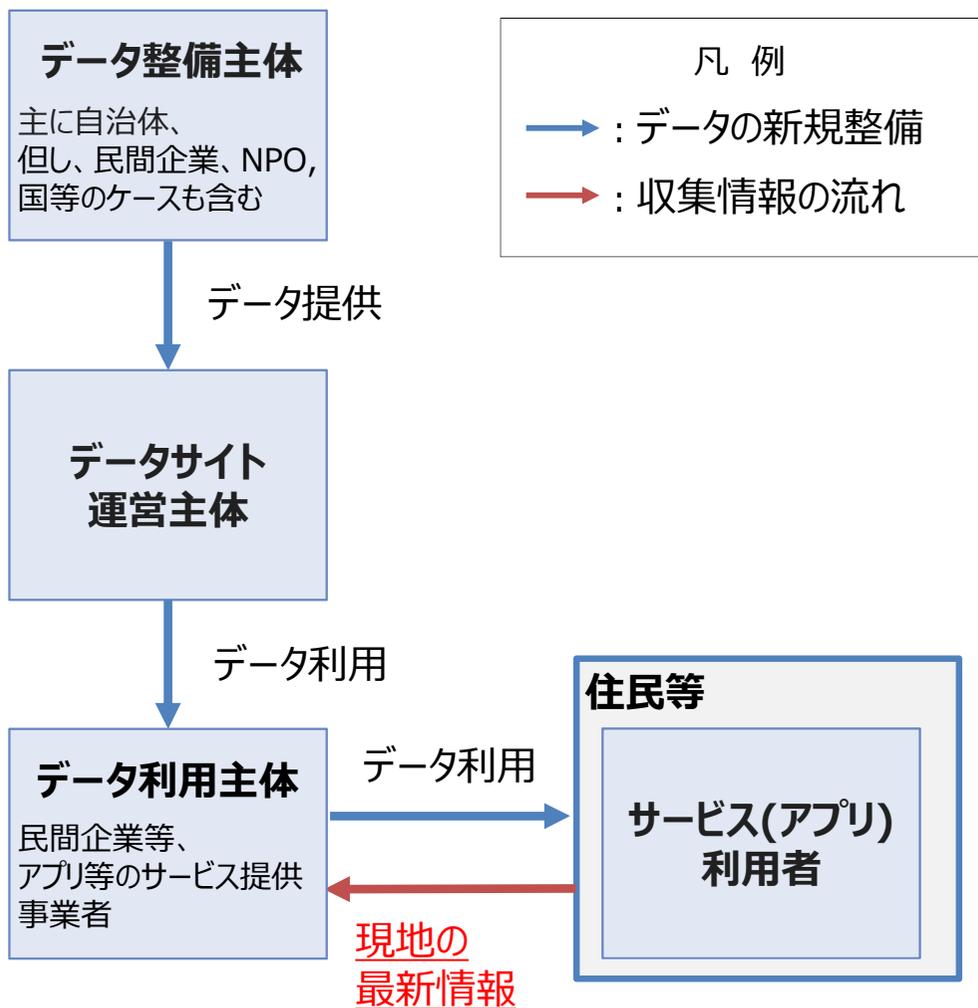


チェック(○×)投稿画面

### ③ 継続的なデータ更新に向けた取組

○ バリアフリー情報の更新・評価を行う主体や更新・評価の対象等を整理し、サービス利用者を中心としたオープンデータの更新・評価の方法の全体像を検討

#### データの最新情報の収集



#### オープンデータの評価

